

Global Citizenship Program

グローバル・シチズンシップ プログラム

世界に友達を作り、
世界の問題を自分事に！

日本の高校生の皆さんには、世界各地で起きている問題について、他人事ではなく地球社会の一員として積極的に考え行動を起こせる、そんな **地球市民** (global citizen) になってもらいたいと願っています。



このプログラムでは、オンラインで世界各地の中高生と繋がり、対話を通して様々な国の**文化に触れ**、**友好を深め**、また日本を含めた世界の中高生が**直面している課題**について学びます。

予定セッション

- SESSION 1, 2: **ネパール**の中学生
- SESSION 3: **ウガンダ**の高校生
- SESSION 4: **アメリカ**の高校生
- SESSION 5, 6: **ガザ地区**の中学生



募集要項

日時

2022年11月から2023年3月にかけて
詳細の日程は参加者と随時調整して決めます。

セッション

6回(4カ国)のオンラインセッションを予定

対象者

高校生10人(先着)
応募数によっては高校生以外も受け入れ可能。ご相談ください。

参加条件

世界の国と、そこに住む人々と繋がりたいという意欲があること。
通訳がつくため、英語に自信がない方も安心して参加できます。


参加費


150ドル (参加費の一部は各国協力団体に寄付されます。)


申込方法


お申込みフォームは以下のQRコードよりアクセスいただけます。

ご質問等は以下のメールアドレスよりご連絡ください。

 junkom@globeself.com

 www.globeself.com

 www.instagram.com/globeself

 www.facebook.com/Globeself

お申込みはこちら↓



参加者の声

異なる文化で生活している同世代の友だちと話せるのは本当に楽しいです。通訳さんがいるので、英語が話せなくても十分思いが伝わるし、また、スラスラ話せるようになったらもっと楽しいだろうなと感じて、英語学習のモチベーションにもなります。

ウガンダとのセッションの数日後にウガンダで連続自爆テロが起きました。普段なら深掘りしないかもしれませんが、何しろ一緒に時間を過ごした友達がいるので、新聞やニュースなどを隅々まで調べました。セッションで出会った友達はその時は大丈夫だったそうです。セッションを通して、世界で起こっていることに感情的になれた自分に気がきました。

高校2年生

私は昨年、ウガンダとのオンラインセッションに参加しました。セッションに参加する前、アフリカというと発展途上国が多いため貧困など様々な社会問題を抱えているという知識は持っていたものの、アフリカのどこにどんな国があるのかすら知らず、どこか遠い国で起きてる自分とは関係ない出来事のように感じていました。しかしセッションに参加し、直接ウガンダに住む同世代の友達と話すことによって、アフリカや地球全体の課題について自ら強く考えるきっかけとなりました。ウガンダの友達とは、セッション後も連絡を取り合っており、環境問題など難しい話題からテスト勉強に関することまで話しあえる良い友達を得る機会になりました。



また私はこのセッションを受けて、アフリカの環境問題に興味を持ったため、ルワンダ現地でのボランティアプログラムに参加しました。オンラインではあるものの、直接ウガンダの同世代の友達と話せるこのセッションは、様々な活動を行ううえでの入り口としてとても良い機会になったと思います。

高校1年生